

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

西岡半右衛門家

ノゾウの上顎の臼歯が発見されています。この化石は現在、滋賀県立琵琶湖博物館に展示されています。日野の地に、ゾウなどの大型脊椎動物が生息していた痕跡を見ることが出来ます。

託任寺の宝篋印塔

託任寺は真言宗大谷派の寺院で万治3(1660)年に建立されました。託任寺本堂の西南側に宝篋印塔があります。花崗岩製で、塔身は失われていますが、基礎と笠の形式から14世紀頃の造立と考えられ、中世より、野出の人々の拠り所であったと考えられます。

この宝篋印塔の特徴として、塔上部の笠の形式が挙げられます。多くの宝篋印塔の笠は段状になっていますが、

【託任寺特殊宝篋印塔写真】



本塔は請花式と呼ばれる、笠が花弁のように設けられていることが特徴です。(『近江日野町の石造美術』)

大字野出身の代表的な日野商人として、西岡半右衛門家が挙げられます。初代半右衛門は庄屋を務めており、在任中の文化2(1805)年に、託任寺の本堂建立に尽力しています。

本業については、天明2(1782)年に茨城県で醸造業を始めています。主にしょうゆや清酒を醸造し、県内外で広く販売を行っていました。その品質が評価されると、西岡家は「近江の半右衛門」ということで「近半」と呼ばれ親しまれました。銘酒「花の井」は全国の酒造品評会でもたびたび一等賞を獲得し、大正7(1918)年に行われた陸軍特別大演習に際し、大正天皇へ献上されています。

また、西岡家は、醸造業以外の事業への進出も積極的に行っていました。製糸会社や鉄道の設立に関与し、銀行の支配人を引き受けることもあるなど、地域産業の発展に尽力した姿勢がうかがえます。

大字野出

大字野出は西桜谷の西部にあり、日野町と東近江市との境に位置しています。南北に長く広がる地域で、村の北端には佐久良川が流れています。この佐久良川によって大字野出は、日野町でも有数の豊かな自然環境が育まれています。地名の由来として、室町時代に隣接する蓮花寺から老人衆が開墾してできた出郷であるとの伝承がありますが、それを確認できる資料は伝わっていません。

古琵琶湖の証

2500〜180万年前、湖東地域一帯は古琵琶湖が位置し、湿地が広がる環境でした。日野町では貝類や魚類などの水棲生物の化石やメタセコイアなどの植物化石をはじめ、多種多様な生物の化石が産出されています。特に佐久良川流域で多く発見されており、大字野出では、佐久良川河床からアケボ



【アケボノゾウ上顎臼歯化石写真】

◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-52-0008



みんなのとしょかん



本の紹介

『本とはたらく』

矢萩多聞／著 河出書房新社

中学1年生で不登校になり両親とともに14歳でインドにわたった装丁家の物語です。著者が語りたいのは「本」のことより、本のまわりの数え切れない「人」たちの物語。「本は縁側みたいだ」という言葉の意味を著者の物語から読み解いてみてはいかがでしょうか。



10月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

11月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

●…休館日 ○…えいが会 ◇…託児サービス
 ●…おはなし会 □…おひざでだっこのおはなし会

日野町立図書館

☎0748-53-1644 FAX 0748-53-3068

図書館の本は、お近くの公民館でも返却していただけます

行事予定

「おはなし会」

10月8日(土)、22日(土)、
29日(土)
10:30～(30分程度)

「託児サービス」

10月12日(水)、19日(水)
10:00～12:00
対象:0歳から3歳

「おひざでだっこのおはなし会」

10月15日(土)
11:15～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「えいが会」

10月16日(日)14:00～
『トキワ荘の青春』
1996年/日本(110分)

※行事・サービスは中止する場合があります。

図書館からのお知らせ

○ウィキペディアタウン in 日野町立図書館

まちを歩いて、見聞したことや図書館の資料で調べたことを合わせてウィキペディアに記事を書き、日野町の魅力を世界に発信するイベントです。

と き 10月30日(日) 10:00～16:00

ところ 視聴覚室

定 員 10名(事前申し込みあり)

参加費 無料

準備するもの ノートPC/タブレットなど、
デジタルカメラ(スマートフォン可)

「車も乗らないし、足もよくない。バス停も遠いから大変よ」以前地域を歩いた時、最も多いお声が「バス」の話でした。町の住民意識調査(平成31年)で、町の良いところで最も評価が低かったのが「交通の便」についてでした。高校生が答えた最も力をいれるべき施策は「公共交通」でした。

今、「わたむき自動車プロジェクト」という公共交通活性化事業に取り組んでいます。路線バスや町営バスのみならず、タクシー、オンデマンド交通、事業所等のチャーターバス等のあらゆる輸送資源を総動員して、公共交通のベストミックスを模索する取り組みです。

まず進めているのは「小学校のバス通学」です。遠距離徒歩通学の児童に対して、事業所チャーターバス等を活用したバス通学を検討しています。現在、湖南サンライズの児童さんを対象にした実証実験に取り組んでいます。今後も地域の要望に応じて対応をしていきます。

次に進めているのは「工業団地等へのバス通学」です。当町は昼間7千人が町外へ流出し、逆に1万人が流入する昼間人口の多い町です。その多くは町内工業団地への通勤者ですが、工業団地等へ乗り入れるバスはありません。バス路線が実現できれば、利便性向上、渋滞解消、CO₂排出削減等にも貢献します。現在、事業所の方にご協力いただき実証実験を進めています。

そして今後「住民の移動」を検討していきます。住民の足となる町営バスについては、既存路線のあり方とともに、従来カバーしきれなかった地域に対し、小回りの効く車両でのオンデマンド交通の導入をめざしています。来年2月頃には南比都佐地区や必佐地区の一部地域で実証実験を行い、地域の方の声をお聞かせします。今後その他地区での実験も検討します。

今までにない取り組みなので、課題もたくさんあります。しかし何とか良くしたいと考えています。皆さんのご意見をお聞かせください。努力をして、町民の皆さんに喜んでもらえる公共交通にしたいです。

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

公共交通プロジェクト